



大阪よどがわ市民生活協同組合
吹田市幸町4-1 ☎ 06(6319)5619
発行責任者: 藪内 剛

機
関
紙

よどがわ

3

MARCH
2026.3.2 No.486

次号は3月30日発行です

笑顔ひろがる 豊かなくらし
食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい



100年以上
受け継がれてきた
高山真菜のたね

特集 豊能町
「高山真菜」



<https://www.yodogawa.coop/>

検索 よどがわ生協



← 公式facebook
『大阪よどがわ市民生活協同組合』

公式Instagram →
『@yodogawacoop』



エコアクション21
認証番号0008727

よどがわ市民生活協は
環境マネジメント
システムに基づいた
とりにくみを行なっ
ています。

なにわの伝統野菜霜と土の恵み



私たちが暮らす地域の中に、希少な『なにわの伝統野菜』※が育てられていることを知っていますか？大阪府豊能町の高山地区で代々受け継がれてきた『高山真菜』は、よどがわ市民生協の配送エリア内で育つ、正真正銘の地場野菜です。この野菜を2015年からは『高山まな浅漬』としてお届けしています。市場にはめったに出回らない味を、独自の浅漬としてお届けできる理由は、種をつなぎ、土を守りぬいてきた生産者さんの努力と、伝統を未来へ手渡すための飽くなき挑戦にありました。

江戸時代から変わらないと考えられる、採種した『種』

※『なにわの伝統野菜』とは
大阪府では、下記の基準を設け、現在24品目を『なにわの伝統野菜』として認証しています。
①約100年前から大阪府内で栽培されてきた野菜。
②苗、種子等の来歴が明らかで、大阪独自の品目、品種であり、栽培に供する苗、種子等の確保が可能な野菜。
③現在も府内で生産されている野菜。

自然の理にかなった栽培法で育む なにわの伝統野菜『高山真菜』

江戸時代から大阪府豊能町の高山地区で守られてきた『なにわの伝統野菜』。周囲を山に囲まれた地形が他品種との交雑を防ぎ、原種の“種”が受け継がれてきました。最大の特徴は標高400mの厳しい寒さが生む味わいです。冬の間、連日のように霜にあたることで糖分を蓄え、濃厚な甘みとほろ苦さが生まれます。栽培には先人の知恵が詰まっています。毎年、春分の日(3月20日)前後に『高山真菜まつり』を開催しており、生産者の畑に入り、自分で真菜を摘み取って購入できる貴重な機会となっています。「山の中の澄んだ空気を吸いに、ぜひ遊びに来てください」と生産者の皆さん。

天敵はヒヨドリなどの鳥や、鹿、イノシシといった野生動物。畑の周りに網を張って防ぎます。



農薬を使わない、 驚くほどシンプルな理由

高山真菜が農薬を使わずに栽培されている理由は意外とシンプル。寒い冬の間で育ち、3月下旬に収穫される栽培期間には、作物を荒らす害虫がほとんど発生しないからです。そのため、農薬を散布する必要がありません。真菜の後には深く根を張る『高山ごぼう』を植えます。この輪作が土を耕し、稲わらなどの有機物を土に還す循環を守っています。

「高山真菜」の魅力とは



収穫された高山真菜は、『みずなす漬』でおなじみの堺共同漬物によって加工されます。

「場所が違えば、もうそれは『高山真菜』とは呼べません」
土地と人が守り抜く、唯一無二の味

「なにわの伝統野菜は100年前からと言いますが、高山真菜の歴史はもっと古いはず」そう語る生産者の川上さんの家の蔵からは、黒船来航よりも古い『文化年間』の記録が見つかっています。その歴史と味を支えてきたのは、毎年種を採り繋ぐ『自家採種』という伝統と、柔らかい茎を一本一本『手で折って』収穫する、惜しみない手間です。

最大の課題は、生産者の高齢化とその収穫作業の厳しさにあります。春先の短期間に作業が集中し、中腰での摘みは、長年畑を守ってきた体には堪える重労働です。しかし近年、その苦勞を支える新たな力が生まれています。よど

がわ市民生協との連携による安定した注文が、「作ったものを待ってくれる人がいる」という安心感を生みました。この変化が「自分らの食べる分だけでなく、もう少し作るか」という意欲に繋がり、地域住民が新たに3軒が生産に加わるなど、担い手不足解消への希望の兆しに。収穫期間が短く重労働だったこれまでの課題を解決するため、昨年からは収穫後の原料を一旦『冷凍保管』して商品化しました。こうして生産者の負担を減らし、より多くの人へ旬の味をお届けできるようになりました。



ぜひ！高山真菜で作った
『高山まな浅漬』を食べてみてね～！

元気に畑に立つ
(左から)
新谷さん(85歳)
大上さん(82歳)
川上さん(70歳)

今の野菜は甘いだけのものが多いけれど、真菜には自然のほろ苦さがある。それが体にいいんですよ。(新谷さん)

真菜を収穫した後の畑で、伝統野菜の『高山ごぼう』を育てる。ごぼうは土の深いところまで根を張るんで、土をよう耕してくれる。こうやって土の力を保ちながら続けて行くのです。(大上さん)



組合員とともに、 日本の食と農を守るために



日本の農政と食料問題に向き合う

近年、世界的な食料不足が懸念される中、国内の主食である米の生産量は年々減少しています。政府は市場任せの価格政策を進めてきましたが、2024年は需要と供給のバランスを見誤り、米不足になり価格高騰が発生しました。

生協でも注文が通常の数倍に達し、すべての組合員にお届けできない事態が続き、ご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。

今回の問題を受けて、よどがわ市民生協は日本の農業政策に対する学習会を数回経て、理事会としてこの問題に対する考え方を以下3点にまとめました。

〈よどがわ市民生協の考え方と取り組み〉

～ともに考え・思いを伝える～

この問題の本質は、米の生産を抑制してきた国の政策にあると考えています。よどがわ市民生協は理念として掲げる『笑顔ひろがる豊かなくらし～食の安全 子どもの未来 地球環境守りたい～』のもと、食の安全と農業の持続可能性を重視してきました。過去

にも政府に対し、日本の農政の見直しを求める意見表明を行い、2025年1月には農林水産大臣宛に『食料農業農村基本計画への意見表明』を送付しました(右ページ参照)。今後も政策の動向を注視していきます。

～米の安定供給に向けた努力を行う～

事業者として、米の確保に向けて以下の取り組みをすすめます。

- 新たな産地の拡大
- 既存生産者との関係強化

特に、生産者が安心して生産できるよう、組合員のみなさんには登録や自動注文への参加を呼びかけています。消費者と生産者の対等な関係づくりをめざしましょう。

～組合員とともに行動する～

協同組合として、組合員と一緒に日本の農業を考え、行動していきます。10月から11月にかけて実施した『食料の安定供給と自給率向上を求める署名』では、延べ1万5千筆を超える署名が集まりました。ご協力ありがとうございました。

また、茨木市の生産者と農業体験を行う『我らよどがわ緑農隊』や、豊能町の農産物を組合員と

一緒に収穫し配送で取り扱うなど、食と農を考える機会を大切にしています。自然の美しさに触れ、生産者から学ぶ体験は、心を豊かにします。ぜひ、みなさんも足を運んでみてください。



農林水産大臣
江藤 拓様

2025年1月20日
大阪よどがわ市民生活協同組合
理事会

食の安全 子どもの未来 地球環境を守るため国内の農業生産増加に向き合った施策を

大阪よどがわ市民生協は笑顔ひろがる豊かなくらしの実現をめざしています。それには食の安全 子どもの未来 地球環境の保全が欠かせないと思っています。生産者と交流を続ける中、厳しい農業経営の実態や「自分たちの子どもには引き継がせたくない」という声がよく聞こえてきます。私たち生協は農業や農家を守ることは自分たちのくらしを守ることと同じであると考えています。消費者と生産者は対等な関係であるということを中心に、持続的な農業の発展のために消費者の立場からエシカル消費を推進していきたいと思っています。世界的な食料不足が危惧される中、国内の生産量や農業従事者が激減していることは深刻な問題です。政府にはこの問題に危機感と責任をもって解決に向けて取り組むことを求めます。

1. 食料安全保障の確保について

食料の確保は輸入依存から国内生産の増大に舵を切るべきです。昨年、米が商品棚から消えるという事態に消費者は大変困惑しました。今なお、米価の高騰が続いています。その根本にある原因(水田そのものを減らしてきた政策)について振り返り、農業基盤の立て直しと主食の米を中心に食料の増産に努めてください。また、正確な情報発信と買占め・価格高騰・転売防止などに努めてください。

世界的な食料不足・供給の不安定さが危惧される中、食料自給率がカロリーベースで38%、(肥料や飼料、種子、雛鳥などの自給率を考慮すると10%とも言われる)まで下がったことを真摯に受け止めるべきです。少なくとも食料自給率の目標を50%以上に引き上げ、飼料の国産化と合わせて達成に向けて取り組んでください。また、他の先進国にみられるように食料を増産し、不測の事態に備えた十分な備蓄を行うこと、余剰農産物を買上げ、経済的に困難を抱える世帯や学校給食への供給(無償化)などの食料支援制度を確立し、農業に対する支援と国民への食の安全保障の両立に取り組むことを求めます。

2. 環境と調和のとれた食料システムの確立について

農業の持つ多面的な機能(景観・環境保全、防災機能など)と温室効果ガス排出や化学農薬・肥料による土壌・河川汚染などの負担の両面から食料システムを考えることが重要です。食料の確保において輸入依存を減らし国内生産を増やすことで海外からの運搬による温室効果ガスを削減できます。地域農業に依拠すれば、堆肥や飼料など地域や国内の資源活用が進みます。

日本の農業の大半は工業的・大規模な農業と異なり、小規模家族農業が地域の田畑や里山を守ってきました。農業の環境面への負担の軽減には多くの小規模家族農業の協力が欠かせません。一方、新しい技術や機材の活用、スマート農業などへのチャレンジには高額な費用が必要です。環境に配慮した農業への切り替えを促すためには全農業従事者を対象にした経済的支援が必要です。また、それにかかるコストは一部の消費者に負担を求めるのではなく社会全体で分担する仕組みを求めます。

3. 農業の持続的な発展について

私たちは農業に縁を持つ機会を設け、組合員と一緒に定期的に農作業のお手伝いをしています。みんなで収穫した農産物の相場価格を調べると非常に安いことを知りました。価格を市場任せにした結果、農家が手にする収入は少なく、そもそも食べていけない実態があります。日本の農業の大半を占める家族農業を経済的に支え、同時に消費者の負担を軽減させる国の施策が必要です。農家の方々が経済的な理由で離農することがないよう農畜産物の価格保障と直接支払いによる所得補償の実現を求めます。

4. 農村の振興について

農業従事者の激減については食の安全保障上の深刻且つ喫緊な問題です。消費者と農業をつなぐ様々な施策に取り組んでください。農村に向かうだけでなく様々な体験(農業体験、調理体験、地元食材を使用した給食制度など)は農業全体への理解が進み将来の担い手を育みます。政府として農に触れる体験づくりや魅力の発信を強化していくことが必要です。また、そのような中で、小規模からでも農業をやってみたいと思う人への経済的支援を積極的に行うことを求めます。

農業について



お米の安定供給をめざして

2024年夏以降、米が店頭から消えるという事態や生協でもお米のお届けができない・点数制限をせざるを得ない状況となりました。よどがわ市民生協では、日本政府へ長年にわたり米の生産を抑制する政策の見直しを求める意見表明を2025年1月に行いました。(P.5参照) また、2025年5月、事業と一緒にすすめるおおさかパルコープの役員のみなさんとともに岩手県遠野市を訪れ、『遠野産米産地協定』締結式に同席しました。米の産地拡大だけでなく、生産者と組合員との交流などを通じ、農業を

知り・学び、農業従事者への理解・応援を広げていきましょう。



内山副理事長

生産者の「作ったら必ず買ってほしい」という願いと、生協の「必ず利用するので安心して作ってほしい」という約束を通じて、お互いの信頼関係を築くことが重要だと感じました。

「我らよどがわ縁農隊」

これまで組合員より「都市部では田んぼや畑が減り、子どもたちに農業体験をさせたいが難しい」「貸農園も手ごろな場所がなく、自宅もマンションで家庭菜園がなかなかできない」などの声が寄せられていました。そこで「より多くの組合員が気軽に農業に参加し、生産者と交流し、学ぶ機会を増やしたい」という想いで、田植え・稲刈り企画でお世話になっている『茨木市上

音羽営農組合』協力のもと【我らよどがわ縁農隊】が2024年度より始まりました。今後、茨木市上音羽を始めとする多くの産地に活動の輪を広げていきたいと考えています。そのためには、皆さんの協力が必要です！農業活動に少しでも興味がある人、気になる人、どなたでも大歓迎！一緒に農業ボランティア活動の輪を広げていきましょう！



LINE登録は
こちら



茨木市上音羽農業ボランティアのこれまで



茨木市上音羽
農家の現状

生産者の高齢化や後継者不足による**“人員不足”**が大きな今後の課題となっています。よどがわ市民生協で何か解決に向けて支援できないかと検討しました。



よどがわ市民生協
の取り組み

2022年より職員がボランティアで参加 (^ ^) /
大豆の種植えや収穫、三島ウドの株植えを行いました♪



生産者の声

「ボランティアを通じて多くの人に、農業の現状や苦労だけでなく『楽しさ』も味わっていただけたと思います。少しでもお手伝いいただけたら助かります！」



食料の安定供給と自給率向上を求める署名への取り組み

国内の食料自給率(カロリーベース)は約38%と低水準で推移しており、特に主食である米は生産者の高齢化・離農、政策転換、異常気象などにより安定供給が危ぶまれています。

よどがわ市民生協としても、日本の農業や農家を守ることは自分たちの暮らしを守ることと同じであると考え、全国食健連の請願署名に賛同し、2025年11月にカタログと一緒に署名用紙を組合員に配布しました。2026年1月末までに1万5千筆が寄せられました。この多くの人から寄せられた想いは3月に政府へ届けます。

署名は政府に対し、次の事項の実現を求めるものです。

- 米の生産と供給に政府が責任を持つこと
- 減産政策の見直しと増産への転換
- 農家を支える価格保障・所得補償
- 食料政策を輸入依存から転換し自給率向上を図ること
- 学校給食の無償化など、国民の食を支える政策の強化



集まった署名(一部)

今後も安心して食べ続けられる『食料・お米』を未来につなぐために、共に声をあげ、行動を広げていきましょう！

わたしたちにできること

現在の日本の農業のことを知り・学び、わたしたちにできることはなんですか? 上記のような署名の取り組みも1つです。さらに『年間登録米』について紹介します。



<年間登録米>

- 登録者が増えることで安定した数量を年間確保することができ、産地を守ることにつながる。
- 生産者にとって、お米が余ってもお届け先が決まっているので安心して作ることができる。
- 組合員へ米を安定してお届けすることができる(不足時にも優先的にお届けすることができる)。

※これまでは『自動注文』扱いだったため、都合でお休みすることができていましたが、『年間登録』扱いになるため、お休みする場合は、配送担当者またはコールセンターへ連絡していただく必要があります。



『年間登録米』についてのくわしい案内は、3月1回のカタログと一緒にお届けしたチラシをご覧ください。



日本の食と農業を守るためにみんなで力を合わせましょう!

3.11 東北に想いを寄せて

● 大阪府生活協同組合連合会による福島県視察研修へ行ってきました



福島県にて 2025年11月18日(火)～19日(水)

福島県の地震、津波被害、原発事故の状況や現状、今後の課題について学ぶため、よどがわ市民生協からは組合員理事と職員の計2人で参加しました。



参加した組合員理事よりレポート

1日目

東京電力廃炉資料館を見学しました。東京電力の社員より現在原発1～4号機が『冷温停止状態』を継続している状況やALPS処理水の放出状況の説明を受けました。地震当時、5・6号機は点検中で稼働していなかったそうです。原発1～6号機の周辺をバスで巡り、廃炉に向けて作業を毎日3000人が行っていることを知りました。



私たちは福島第一原発の事故から学んだことを忘れずに、福島の今とこれからを知ること、家族や身近な人と話をすることを続けていきたいと思えます。

2日目

特定廃棄物埋立情報館『リプルンふくしま』では、環境省の職員から特定廃棄物事業の概要や必要性・安全性について、説明がありました。福島県内で発生した土壌や廃棄物を最終処分するまでの間に貯蔵する施設の『中間貯蔵事業情報センター』では、バスに乗って廃棄物が貯蔵されている施設状況を見学しました。『東日本大震災・原子力災害伝承館』においては、地震・津波・原子力発電所事故発生当時の状況が記録映像と無残に変形した消防車など数多くの物品展示があり、当時の壮絶な状況が体感するかのように見学することができました。

● 『桜ライン311』募金対象の大阪マラソンに今年も参加しました！

岩手県陸前高田市の津波到達点上に桜を植樹し、震災を後世に伝えるためのプロジェクトをおこなう『認定NPO法人 桜ライン311』が昨年に続き、大阪マラソン2026の寄付団体に選出されました。大阪よどがわ市民生協は、今年も桜ライン311の活動趣旨に賛同し、チャリティランナーを選出。今年、第2支所配送担当の山根上貴さんが思いを込めて走りました。

2026年2月22日(日)



これからも被災地に想いを寄せて…



2026年度東北支援募金ご協力をお願い

この募金は、『福島復興ステーション(福島)』『遠野山・里・くらしネットワーク(岩手)』に届けられ、福島県では原発事故からの復興、岩手県では復興公営住宅のコミュニティづくりなどの地域交流の取り組みに使用されます。「15年経っても、私たちは忘れない」という想いととも、協同の力で支えていきましょう。

期間 3月2回～4月2回

募金方法 注文書の募金カンパ欄「1417」に個数(100円単位)を記入してください。またインターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。

※この募金は、所得税の寄付金控除の対象にはなりません。

ご協力よろしくお願ひいたします



職員に向けて情報システムに関する学習会に取組んでいます

よどがわ市民生協では、職員に向けて情報システムについての知識向上と、業務の安全性や効率化を高めるため、さまざまな学習会を開催しています。

セキュリティ強化の取り組み

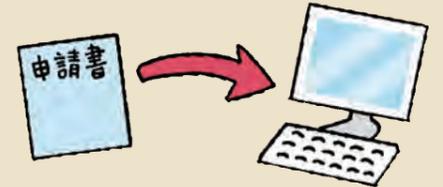
外部からの不正アクセスを想定した『標的型攻撃メール訓練』と『セキュリティ学習会』を実施し、情報漏えいを防ぐための意識向上に取り組んでいます。

新しい技術を使う取り組み

新しい技術への理解を深めるため、『生成AI学習会』を開催し、業務への活用方法や注意点を共有しました。

業務効率化の取り組み

業務効率化を目的に各種申請書の電子化をすすめ、職員が使えるように『電子化ツール操作学習会』を行い、紙からデジタルへの移行を進めています。



これからも、職員が安心して働ける環境づくりと、組合員にとってより良い情報システムのサービス提供のために、基盤整備に努めます。



今回は…

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介

団体名: ども食堂ルンルン

活動エリア 吹田市幸町 開催日 毎月第一土曜日



『ども食堂ルンルン』さんとは…

ども食堂ルンルンさんは会食形式のども食堂を月1回開催しています。子どもに関わる仕事(保育士など)を地域でされていた人たちが中心となり、2022年に立ちあげました。『親子がホッとできる居場所づくり』と、『子育て世帯への食料支援』が活動の目的です。



この日の献立は ハヤシライス、ポテトサラダ、りんごでした。

『あそびの時間』を大切にされています。この日は77人の親子が参加されていました。



この日は和大学の学生ボランティアさんと一緒に、牛乳パックでオリジナル羽子板を作り、楽しく遊びました。

よどがわ市民生協さんからいただく物資は、調理に使用したり、『おすそわけ』という食材配布の取り組みで活用しています。最初、ルンルンに来てすぐのころは元気がなかった人も、毎月お会いしていると、笑顔が見られるようになり、私たちもうれしいです。

1月のども食堂開催日に訪問♪



会場のコミュニティセンターに到着すると、お手玉や百人一首、こま回しなど、お正月の遊びを楽しむ子どもたちの姿が。ども食堂ルンルンさんは食事と一緒に多世代で楽しむ



地域とのつながりを切らさないように、今後も続けていきたいです。

『ども食堂ルンルン』柳さん・木村さん

紙面に載せきれない かわいいお話はこちら



よどがわ市民生協では、今後も地域団体の活動を支援していきたいと考えています。

● よどまる応援基金のご案内 ●

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。 ※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(1=100円)を記入。インターネット注文『eフレンズ』でも募金できます。

子ども食堂などを支援できる『よどまる応援基金』について かわしくはこちらから♪



毎週受付中～♪



理事会だより 2025年度 第9回理事会 (2026年2月13日開催)

■仲間づくり(1/20現在)

1 月度純増	198人
組合員数	11万8,007人
組織率	10.6%

■出資金(1/20現在)

1 月度純増	▲23,934万円
出資金総額	46億7,887万円
1人当り平均	3万9,649円

■損益の状況

	1月度(12/21~1/20)		
	実績額	予算比	前年比
供給高	14億3,700万円	96.3%	105.4%
事業総剰余金	4億9,784万円	96.7%	106.6%
事業経費合計	3億8,106万円	94.7%	104.0%
経常剰余金	1億2,018万円	105.2%	117.2%

	2025年度累計(2025/3/21~2026/1/20)		
	実績額	予算比	前年比
供給高	126億5,493万円	99.4%	99.8%
事業総剰余金	41億8,326万円	98.5%	98.9%
事業経費合計	38億8,499万円	94.3%	101.3%
経常剰余金	4億1,744万円	181.4%	81.3%

※1万円未満は切り捨てて表示しています。

報告事項

以下の事項について報告しました。
 第1号議案 前理事会以降の主な活動報告承認の件
 第2号議案 1月度経営・事業報告承認の件
 第3号議案 1月度組合員活動・地域連携推進報告承認の件
 第4号議案 この間の報告(経営委員会、関西地連運営委員会、コープきんぎ理事会等)

議決事項

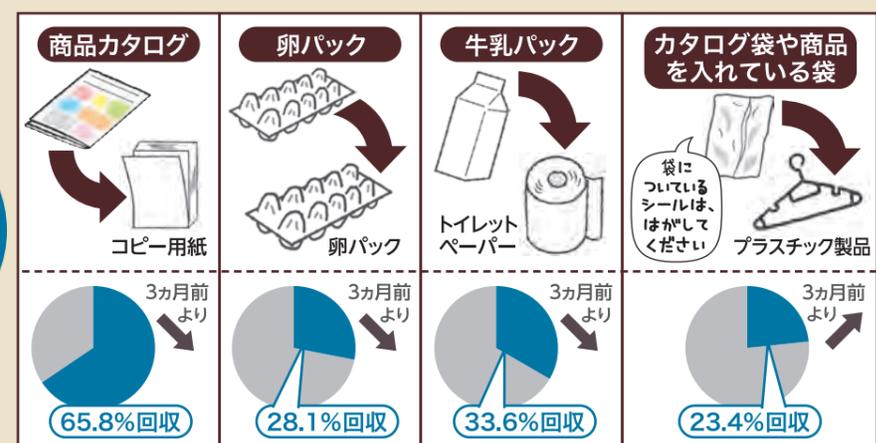
以下の事項について議決しました。
 第5号議案 役員選任候補者確認の件
 第6号議案 役員人事委員会への諮問の件
 第7号議案 執行役員選任の件
 第8号議案 2025年度まとめ・2026年度方針と重点課題の件
 第9号議案 畑田新支所の什器購入の件
 第10号議案 2025年度期末決算の会計方針の件
 第11号議案 2項組合員加入承認の件

協議事項

以下の事項について協議しました。
 第12号議案 2026年度予算(1次案)の件
 第13号議案 コープきんぎ事業連合への預託金拠出の件
 第14号議案 日本センチュリー交響楽団の法人パートナー登録の件
 第15号議案 春の総代懇談会開催の件
 第16号議案 商品代金未払い組合員除名の件

配送時に
担当者へ
渡してネ!!

リサイクル 回収報告 10月度~ 12月度



1月度商品検査報告

12月21日~1月20日

安全・安心の商品をお届けするため、商品検査室で検査を行っています。放射能検査の取り組みは、よどがわ市民生協のホームページにも掲載しています。

★商品検査の取り組み状況 商品検査数 760件(前年 825件)

検査の種類	検査件数	注意品	内容と結果
微生物検査	528	なし	再検査・継続検査・調査を要するものが、新規品共にありませんでした。
残留農薬検査	50	なし	問題ありませんでした。
食品添加物検査他	80	なし	問題ありませんでした。
残留放射能検査	14	なし	生鮮・一般食品を検査し、すべて検出はありませんでした。(検出限界値は20ベクレル/kg)
卵質検査	55	なし	問題ありませんでした。
輸入食肉検査	12	なし	問題ありませんでした。
アレルギー(卵乳・小麦)	21	なし	問題ありませんでした。

※おおさかパルコープ商品検査室にて実施

春の総代懇談会のご案内

総代のみなさんには3月下旬にうれしい案内を郵送します。

2026年度の総代さんに集まっていただく、最初の懇談会です。6月10日(水) 通常総代会にて、2025年度の報告や2026年度の事業について議決を行います。その事前説明として『春の総代懇談会』を行います。

開催日時 **4月14日(火)~5月7日(木)**
午前10時30分~12時15分 または 午後13時30分~15時15分

- 総代ではない組合員も見学可能です。
- 開催時間は日程によってこととなります。
- 準備がありますので、事前に下記までお電話ください。
- オンライン会場もあります。

お問い合わせ・連絡先 ▶ 組織部 ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

1月度 12月21日~1月20日 あなたの声を聴かせてくださいカード報告

組合員さんの願いをもっと実現できるように、生協へのご意見・要望を『あなたの声を聴かせてくださいカード』にてお聴きしています。カードは毎月1週目の配送時に配布しています。複数枚、必要な場合は、配送担当者またはコールセンター(☎0120-727-263 月~金 9時~21時/土 9時~17時)にお申し込みください。

受付件数	商品への意見・質問など	既存商品の企画要望	新規商品取扱い希望	おすすめの声	商品以外(仕組・お礼など)	総計
	183	66	9	358	54	670
実現事例	● サンプルゼさんの『冷凍内麦ピザ生地』が、とてもかんたんにおいしく作れ、ピザを作るハードルが下がって、子どもと楽しみながらピザを作ることができました♪					3月4回 実現



ミスターKによる

問題: 友だちからこんな手紙が届いたよ!

頭の体操クイズ

家族みんなで考えてみてね!

こたえは1番うしろのページにあるよ!



明日はこれでお出かけしよう!

- 「工」の1画目と2画目
- 「田」の1画目と2画目と4画目
- 「文」の3画目と4画目
- 「串」の7画目

さて、友だちは何でお出かけしようとしているでしょう?

Check! インフォメーション

よどがわ市民生協の組合員さんが参加できるイベントです。下記の注意事項と共にご覧ください★

くらし委員会「ひまわり」より

今年もやります! ヘチマでグリーンカーテン

大きな葉がたくさんつくヘチマ。実は食べられるし、タワシにもなりますよ! 涼しい窓辺で省エネも! 参加者同士の交流会も予定しています!

※プランターや土・肥料などは各自でご用意を!

募集人数 50人 ※1組合員につき申し込みは1口のみ。

参加費 100円 → 各注意事項④

申し込み 締め切り 4月10日(金)



当選した組合員さんは…

- ① 4月13日(月)より順に郵送にて種をお届けしますので、6月上旬までに種を植えてください。
- ② 9月頃、アンケートを送付します。

去年の感想

- ヘチマたわしとヘチマ水を作ってみました!
- グリーンカーテンで涼しく、窓を開けても人目を気にせずに過ごせました!



NO.2428

託児スタッフ(有償)追加募集します! 資格は問いません

よどがわ市民生協で行う会議や組合員活動の場に、組合員が安心して参加できるように、お子さん(1歳以上)の託児をいたします。託児をする「託児スタッフ」を追加募集します。組合員どうしのサポートに参加してみませんか?

活動エリア 島本・高槻・茨木・吹田・摂津・淀川・東淀川・西淀川・豊中・箕面・池田・豊能・能勢

日時 4月8日(水) 10時~11時30分

会場 摂津市立コミュニティプラザ 2階 会議室1

※阪急摂津駅ロータリー前 ※JR千里丘駅より徒歩10分

持ち物 飲み物・筆記用具

申し込み 申し込み後、説明会に参加してください

締め切り 3月27日(金)



託児スタッフ(有償)「かんがるー」

NO.2427

申し込み・お問い合わせは ▶ 組織部 ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

- 共通注意事項**
- 参加できるのは、組合員ご本人または、同居・同世帯(2世帯同居は不可)の家族 ●電車・バスなどの公共機関で参加し、車での参加は不可
 - 先着順ではなく、締め切りまで申し込みOK ●締め切り日から1週間以内をめどに、生協より「当選・落選」いずれも郵送でお知らせ
 - 各イラスト・作品写真はイメージ ●大人2人以上で参加希望の場合は(お友だちの組合員さんと一緒の場合は、お友だちの組合員コード必要)、組織部へ電話にて申し込み ●応募多数の場合は抽選 ●会場への行き方は各自調べ
 - …15ページの参加申し込み欄 ●…組織部へ電話 …インターネット(よどがわ市民生協ホームページ)



- 各注意事項**
- A 健康状態に不安のある人はご遠慮ください B Wi-Fi環境を推奨
 - 1 子ども同伴参加不可 2 子どもだけの参加不可
 - 3 参加費は当日徴収 4 参加費は後日生協登録口座より引き落とし
 - …1歳~・要予約・無料・参加の組合員の子どものみ
 - …託児はありません
 - …妊婦・0~2歳は参加不可

平和グループより

人道の港・敦賀ムゼウムを訪ねて★バスツアー

バスツアー

小学生以上★「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港。敦賀港の歴史とシベリア孤児の人道の物語を学ぼう。大人のための参加OK★

日時 4月3日(金)

7時50分集合 JR茨木駅前西口付近
17時解散予定 上記場所にて

参加費 1人 3,500円 → 各注意事項④

(昼食代・入館料・プログラム参加費を含む)
※キャンセル料3/24(火)~

行先 福井県敦賀市

持ち物 飲み物・筆記用具

募集人数 24人 → 各注意事項A②

申し込み 締め切り 3月13日(金)

NO.2426

『よどがわ市民生協 50周年』わ・わ・わ よどがわ

大阪よどがわ市民生協は、2027年2月25日に創立50周年を迎えます。50周年記念企画のキャッチフレーズ『わ・わ・わ よどがわ』は、平和の『和』、対話の『話』、人の輪・感謝の輪の『輪』。平和があり、対話があり、人の輪・感謝の輪がどんどん広がるイメージを込めています。

『歴史から理念を学び 未来へつなごう』という目的で、50周年記念企画を準備中です。第1弾として、3月28日(土)に『畑田支所おひろめ会』を開催します。一緒に50周年をお祝いしましょう!



よどがわくらしの助け合いの会 139

『ほのぼの』は、「こまった時はお互いさま」という気持ちを大切に、思いやりと感謝の心で支えられた組合員どうしの助け合いの活動をしています。



『もっと気軽に簡単パンづくり!』簡単クッキング交流会を開催しました



12月6日(土)『ほのぼの』の活動についても宣伝・交流の場として『ほのぼの』の会員以外の組合員にも呼びかけ、摂津市立コミュニティプラザにて、パン作りの簡単クッキングを開催しました。

当日は15人の参加があり、2種のパン作りにチャレンジしました。

交流タイムでは、焼き立てパンを食べながら、おしゃべり交流会とお楽しみ抽選会を行い、笑顔あふれるひと時となりました。



参加者からの感想

本当に簡単にパンできるのでびっくりしました。

おいしかったので、家でも作ってみたいと思いました。

〈次回〉 次回の3月の交流会は、地域ごとに開催し、同じ地域を担当する活動会員
〈案内〉 同士で担当コーディネーターとゆっくりお話しして交流できる会にします。

『ほのぼの』事務局(組織部) ☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

生活サポート事業部 福祉グループより 介護保険制度を活用した介護用品を扱っています

介護保険制度を活用した介護用品(車いす、杖・介護ベット・自助具など)の貸与と販売を行っています。また、住宅改修と補聴器の斡旋も行っています。ぜひ、お気軽にご相談ください!



大阪よどがわ市民生活協同組合 福祉情報センター ▶ ☎06-6317-1613 (月~金 9~17時)

組合員さんのお便利コーナー

わいわいホースト



よどがねさん よどまる

コープ共済の名前入り鉛筆使ってます！

機関紙1月号インフォメーション欄のコープ共済の新入学キャンペーンを見て1年前を思い出しました。現在小学1年生の息子にも昨年名前入りの鉛筆をいただきました。息子の小学校ではキャラクターはNGですが、それでも問題なく使えるデザインで入学からずっと使っています。その節はありがとうございました！

(茨木市 めがねさん)



『コロ』

おでんに入れたのですが、最近『コロ』って売っていないのですよね。姿も見なくなつて、おでんに煮て食べたいのですが…。

(東淀川区 まるさん)



※生協職員内で『コロ』が何かわからない世代がありました。

洗濯ものが飛んでいきやすい高層階

角ハンガー洗濯ピンチ、劣化しにくく3個使っています。14階なので、ほとんどピンチ干し。洗濯ネットはタオル以外全部ネットに入れるとシワも少なく糸クズもつかなくて楽です。

(摂津市 幸子さん)



おたより募集

「わが家のエコ活動」を募集します。15面のおたより欄にてお寄せください。

組合員さんからのおたよりエピソード

機関紙1月号にて募集した『家庭菜園のエピソード』

ちょこっという仕事をしてくれる♪

家庭菜園といえば『青ネギ』ですね。安価な時に2~3束買って、まず白い根っこを切り取って、丈夫な器に水を入れてその中に入れておきます。2~3日すると新しい細いネギが育っています。お味噌汁とかお吸い物に少し色目のかわりに入れますと、食欲モリモリになりますよ。次は『カイワレ』ですね。入っている容器を使って、同様に根っこを水につけておくといいですね！

(摂津市 ちよ子さん)



国産レモン!

趣味は大昔から1年中プランターにて、国産の野菜・花を楽しんでいます。2・3年前に友人から『レモン』の植木鉢をもらい、私も少しずつレモンができるようになりました。昨年は20個くらいでき、その友人に3個、そして他の友人たちにも3個ずつくらいあげました。国産で無農薬ということで、みんな喜んでくれます。今少し残っているので、うす切りレモンにして、はちみつ漬けをしようと思って、はちみつを買いました。今年はどれくらい収穫できるのか今から楽しみです。冬の間は『青ネギ』と『せり』が寒さに耐えて、細々と育てていました。

(淀川区 征子さん)



インターネットからでも、お便りの応募ができます。

〈キリトリ〉

クイズの答え

〇〇周年

クイズ応募の組合員さんをご記入ください。



※商品への意見・企画要望は「あなたの声を聴かせてくださいカード」を利用ください。(10ページ参照)

図書カード 当たります Present Quiz プレゼント★クイズ

締切:3月27日(金)必着 発表:本紙488号

よどがわ市民生協は、2027年2月25日に何周年を迎えるでしょうか?

〇〇周年

ヒントは、13ページにあるよ!

クイズの答えを右の欄にご記入ください。



正解者の中から抽選で5人の組合員さんに図書カード500円分をプレゼントします。

おたより募集

締切:3月27日(金)必着 発表:本紙488号

本紙へのご意見・ご感想をお待ちしています。(原文を短くして掲載することがあります。ご了承ください)

※組合員:組合員本人と同居・同世帯(2世帯同居は不可)の家族

お名前					
ペンネームご希望の組合員さんはこちらへ()さん					
組合員コード	5				
コード	請求明細書または出資証書をご覧ください				

大人が2人以上は PC にて

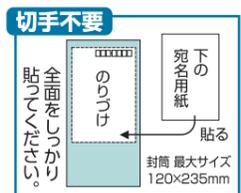
参加申し込み欄
申し込みされる組合員さんをご記入ください
※組合員さんのみが参加できます

NO.2428 ヘチマでグリーンカーテン

ご希望の組合員さんへをしてください
種を申し込みます

クイズの答え・おたよりの郵送方法

上のキリトリ用紙を封筒に入れて郵送してください。
※この応募で得た個人情報は、プレゼントの抽選と「わいわいポスト」や催事の連絡のみに使用します。



インターネットでおたより・クイズの応募ができます。



URL
<https://www.yodogawa.coop/kumiai/kikanshi/quiz/>

484号クイズの答え

2月「15」日(日)
当選者

- 吹田市 あ〜ちゃん さん
- 高槻市 ヘーゼル さん
- 吹田市 眞知子 さん
- 淀川区 ナホコ さん
- 高槻市 ちゅうりつぷ さん

※当選者には3月末に図書カードを郵送します

応募総数 74通
正解 74通



差出有効期限
2026年10月30日
まで(切手不要)

★切手不要★

キリトリセン



平和のこと



吹田市に残る戦跡について

よどがわ市民生協の本部は吹田市幸町にあります。私たちにとっても身近である吹田市で、太平洋戦争末期の1945年に11回の空襲があり、34人が亡くなられたことをご存知でしょうか。*

JR吹田駅付近だけでも多数、戦争被害の名残があります。例えばJR吹田駅 京都線ホームの屋根は高さが異

なる部分があります。これは爆風で屋根が飛ばされたのち、修復され高さが低くなっています。普段何気なく生活しているわたしたちの暮らしの中にも、未だに戦争の影響が残っています。みなさんご自分が住んでいる町の戦争の歴史について調べてみてはいかがでしょうか。戦争を近くに感じられると思います。

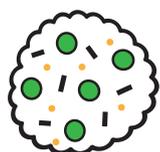


令和6年能登半島地震・豪雨災害

よどがわ市民生協エリアへの避難者支援 期間延長

よどがわ市民生協の活動エリアへ一時的に仮住まいおよび転居して避難している被災者で、生協の利用を希望している人へ、個人宅配の手数料無料（1年間）措置を**2027年3月3回まで**実施します。

【お問い合わせ】 **コールセンター 0120-727-263** 月～金 9時～21時/土 9時～17時



なにわフードバンク 視察報告

“しっかり食べや”



『なにわフードバンク“しっかり食べや”』は、2025年4月1日に大阪府内の生活協同組合や農業・漁業協同組合、福祉団体などが協力して設立しました。

よどがわ市民生協は、同法人に加入することを昨年6月の第48回通常総代会にて提案し、確認しました。その後10月に理事会メンバーで現地視察を行い、『なにわフードバンク“しっかり食べや”』の松岡理事長より、『今の子ども実態・背景』を聞きました。

夕食を食べてない・孤食の子どもたち

数年前に実施した大阪府のアンケート結果によりますと「週にどのくらい、夕食を食べていますか?」という問いに対し、「週に1回」「食べない」という子どもが推定400人以上いました。また大人と一緒に食事をしていない『孤食』も推定1万5,000人ほどであることの実態を知りました。

食材を集めるだけでなく、今の子どもの実態について知り、『私たちに何ができるか?』と自分事として考えることが大切です。

また、フードバンクに寄せられた食品ロス商品を仕分けする作業も、毎回組合員ボランティアを募って実施しています。



よどがわ市民生協ができること

同法人の正会員として、子どもたちの状況が少しでも良くなるよう、実態を知り、支援の輪を広げましょう

